

保護者の皆様

豊能町立光風台小学校

校長 内野 慎也

令和5年度 「学校教育自己診断アンケート」集計結果と考察結果について

1. はじめに

残寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年11月に実施いたしました「令和5年度学校教育自己診断アンケート」の集計結果と本校の考察結果をお知らせいたします。

昨年度、項目の見直しを行い、新規項目や文言追加・変更をいたしました。今年は同一アンケートでの2年目となります。

この結果について第3回「学校協議会」でのご意見を踏まえまして、「学校関係者評価」として、3月末ごろ学校のホームページおよびコドモンにて報告させていただきますので、併せてご覧いただければ幸いです。今回のアンケート集計結果や学校関係者評価でいただきましたご意見につきましては、今後のよりよい学校経営に活かすよう努めてまいりたいと存じます。ご協力いただき誠にありがとうございました。

2. アンケート集計結果について

○児童、保護者のみなさんともに、集計の見方 「A・B・C・D」の4段階での回答。「肯定的意見」《A：よくあてはまる》、《B：ややあてはまる》を百分率（%＝パーセント）（小数点切り捨て）で表しました。

○児童アンケート項目

- 1 学校生活は楽しい
- 2 授業はわかりやすい
- 3 ICT機器やタブレットを活用した学習は楽しい
- 4 道徳の授業では自分自身をふりかえり、よく考えている
- 5 少人数での学習はわかりやすい（3年生以上回答）
- 6 授業での話し合い活動を通して、自分の考えを発表することがある
- 7 あなたの学級では、間違っことを発言してもからかわれることがない
- 8 授業中に勉強以外のことで、友達とおしゃべりすることがない
- 9 クラスでは、自分の気持ちを聞いてもらえる
- 10 運動会などの学校行事は楽しい
- 11 児童会行事（運動会の児童会種目や児童会や委員会のイベントなど）や活動は楽しい
- 12 地域の人との活動（お米づくりやゲストティーチャーとの活動など）は楽しい
- 13 学校で本を読んだり、本を借りたりすることは楽しい
- 14 先生は、自分が努力したことを認めてくれる
- 15 先生は、いじめや体罰を許さないクラスづくりに取り組んでいる
- 16 クラスで自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考えることがある

- 17 おうちの人は、学校での様子を聞いてくれる
- 18 時々不安に感じたり、悩んだりすることがある
- 19 不安やなやみがあるときに学校の先生や友達に相談できる人がいる
- 20 私は人の話を聞くようにしている
- 21 私は家庭学習をがんばっている
- 22 私は言葉づかみに気をつけている
- 23 私はきまりや約束ごとを守っている
- 24 私は家や学校であいさつをしている

(児童アンケート肯定的意見【3年間の経年比較】)

児童	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
R5	84	82	92	81	85	77	80	54	83	85	88	86	84	89
R4	81	87	89	82	94	71	71	64	85	93	91	87	91	93
R3	81	91	—	89	91	73	88	70	84	91	86	88	86	92
児童	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24				
R5	86	90	88	68	74	91	88	79	82	86				
R4	91	88	91	61	75	93	92	75	87	86				
R3	92	90	90	71	—	94	88	79	87	85				

○保護者アンケート項目

- 1 子どもは学校生活が楽しいと言っている
- 2 子どもは授業が分かりやすいと言っている
- 3 子どもは学校のICT機器やタブレットを活用した学習に興味を持っている
- 4 子どもは道徳の授業では自分自身をふりかえり、よく考えていると思う
- 5 子どもは落ち着いて話をしっかり聞くことができる
- 6 先生は子どものことについて相談にのってくれる
- 7 先生は子どもを理解してくれている
- 8 学校は少人数授業・コース別授業・交換授業等、指導の方法を工夫している(※:3年生以上)
- 9 学校は子どもの学力や学校での様子を適切に伝えるよう、工夫している
- 10 学校では教育活動を通して心の教育(人権教育)が尊重されている
- 11 地域の方々の協力を得て学校教育を進めていることに共感できる
- 12 学校は保護者・地域の声を教育に活かそうと努めている
- 13 学校はいじめや体罰を許さない学校づくりの取り組みを推進している
- 14 学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている
- 15 学校は地震や台風など緊急の場合、適切に対応している
- 16 学校の施設・設備は学習環境面・生活環境面について改善に努めている
- 17 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である
- 18 学校は学校便り・学年通信・学級通信・メール・コドモン・ホームページ等学校の情報を積極的に伝えている
- 19 家庭では子どもに基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)がつくように努めている
- 20 家庭では毎日あいさつや言葉遣いなど礼儀について子どもと話す機会をもっている
- 21 家庭では学校のことについて子どもと話す機会をもっている

(保護者アンケート肯定的意見【3年間の経年比較】)

保護者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
R5	92	86	87	86	88	88	87	87	87	86	91
R4	87	86	91	86	83	87	88	87	84	91	95
R3	90	87	—	85	83	89	91	94	—	83	90
保護者	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
R5	83	85	97	96	70	94	95	98	92	97	
R4	85	85	95	94	77	95	94	92	92	90	
R3	86	84	89	95	66	88	90	97	92	95	

○保護者の自由記述ご意見（一部）と学校の考え方について

・アンケートの回答欄について

(ご意見)「解答欄に「わからない」あるいは10点中5点に相当するニュートラルな項目があると答えやすかったです。」

【学校の考え方】ご意見ありがとうございます。来年度より早速回答欄にご意見いただきましたように「わからない」等の選択肢を解答欄に設けられるよう検討したいと考えています。

・登校班について

(ご意見)「登校班が少なすぎない人数で組んでほしいです。お休みや遅刻が1人2人出ただけで、1年生が1人で行くことになる日も何度もありました。いろいろな場合に対応できるある程度の人数は必要だと思います。」

【学校の考え方】ご意見ありがとうございます。本校の児童数が毎年減少していく中、登校班の編成を考える上で、各地区によって人数のばらつきがあったり、学年のバランスがあまりよくなかったりという課題があります。そうした中で、どうしても班が広域地区にならざるを得ない地区も出てきますが、ご意見のとおりある程度の人数と学年のバランス等を確保していきたいと考えています。

・学校の設備について

(ご意見)「靴箱が暗いのがいつも気になります。あと2年毎日使う場所なので、リフォームしてはいかがいかなと思います。予算のご都合があると思うのですが、私学のように寄付制度を設けるのは、公立では難しいのでしょうか。」

【学校の考え方】ご意見ありがとうございます。義務教育学校開校ならびに本校の廃校まであと2年あります。来年度からは中学生も小学生と同じスペースに靴箱を用意し、共有することとなります。今後は豊能町教育委員会と靴箱環境の現状を共有し、環境改善に向けてできることを検討していきたいと考えています。

3. アンケート考察結果について

◎学校生活や授業づくり (児童項目 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 22, 23, 24 保護者項目 1, 2, 3, 4, 8)

「学校生活が楽しい」児童84%、保護者92%となっています。児童・保護者ともに昨年より増加しています。また「ICT機器やタブレットを活用した学習は楽しい」については児童92%、保護者87%となっており、今後のさらなる活用促進を進めていきたいと思ひます。また「少人数指導・交換授業」については、児童85%と昨年より減少、保護者も87%と昨年より減少しており、児童それぞれに合った学習指導を工夫改善し、そのことが児童・保護者の方々により伝わるよう取り組んでいきたいと考えております。今後とも教職員一丸となって、学校生活が楽しく、子どもたちの学習

意欲を引き出し、学習内容がよくわかる授業づくりをめざしていきたいと思ひます。

◎**生徒指導、児童への対応**（児童項目 15, 16, 18, 19 保護者項目 5, 6, 7, 13）

「時々不安に感じたり、悩んだりすることがある（児童）」児童 68%と昨年より増加しています。また「不安や悩みがある時に学校先生や友達に相談できる人がいる（児童）」児童 74%でした。今後この項目の肯定的意見を増加させることで、児童の不安や悩みのさらなる解消につなげていきたいと考えています。「いじめや体罰を許さないクラスづくりに取り組んでいる」児童 86%、保護者 85%となっており、特に児童が昨年よりやや減少しています。今後さらに学校全体での取組みを保護者の方々に発信し、連携を密にしながら「いじめや体罰を許さない取組み」を充実させていきます。また、相談対応や子ども理解についても教職員のさらなるスキルアップのための研修を行っていききたいと思ひます。

◎**保護者・地域との連携、家庭での様子**（児童項目 12, 17, 21, 22, 23, 24 保護者項目 11, 12, 19, 20, 21）

「私はきまりや約束ごとを守っている（児童）」児童 82%、「私は家や学校であいさつをしている（児童）」児童 86%と昨年とはほぼ同様の割合になり、学校と保護者のみなさんが連携しての指導が成果として表れていると考えています。今後も「あいさつや言葉遣い」の大切さについてお家でお話いただければ幸いです。また、「地域の方々の協力を得て学校教育を進めていることに共感できる（保護者）」保護者 91%と昨年よりやや減少していますが、今後も保護者や地域のお力をお借りしながら、学校教育に活かせるようより一層努めてまいります。

◎**学校行事や学校からの情報発信**（児童項目 10, 11, 12 保護者項目 9, 14, 15, 17, 18）

「学校は子どもの学力や学校での様子を適切に伝えるよう、工夫している（保護者）」保護者 87%と昨年より増加しています。「運動会などの学校行事は楽しい（児童）」児童 85%、「児童会行事や活動は楽しい（児童）」児童 88%ともに昨年より減少しました。今年5月から新型コロナが5類に移行し、人数制限等のない学校行事等を進めましたが、今後はそうした状況でもより一層児童が楽しめる学校行事等の企画・運営を考えていききたいと考えています。また「学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている（保護者）」保護者 97%、「学校は学校便り・学年通信・学級通信・メール・コドモン・ホームページ等学校の情報を積極的に伝えている（保護者）」保護者 95%ともに昨年より増加しました。今後もさらに参観の機会の工夫、学校の情報発信を積極的に行っていききたいと思ひます。

◎**学校環境やその他の教育活動**（児童項目 9, 13, 14, 19, 20, 21, 22 保護者項目 10, 13, 16）

「学級では自分の気持ちを聞いてもらえる（児童）」児童 83%と昨年よりやや減少しています。また「心の教育（人権教育）が尊重されている（保護者）」も保護者 86%とやや減少しています。現在の学校の取組みを一度見直し、今後さらに児童の気持ちに寄り添い、児童自身が粘り強く試行錯誤しながら取組んでいけるよう保護者のみなさんとともに進めていききたいと考えております。また、「学校で本を読んだり、本を借りたりすることは楽しい（児童）」児童 84%と昨年より減少しています。本を読むことは「学習の基礎」「自分を見つめる機会」等となることをあらためて確認し、今後とも読書に親しめる環境づくりに取組んでいききたいと思ひます。

以上、ご報告いたします。ご協力いただき誠にありがとうございました。